

十一月句会 お題「本気」互選 数字は票数

3 若者の本気度見えぬ憂う明日 哲子

健一 アキラ○

新総裁いよよ本気度試される 郁子

義雄 ひよこ アキラ

4 負けおしみ言えば本気のグチになる 正清

乃り子 健一 哲子○

ジャンボくじ並んだ顔はみな本気 アキラ

広子 英一 きよな 哲子

本気でも叶わぬことは数多あり 健一

基弘 えいじ○ 郁子

何時も言う本気出したら勝っていた 英二

広子 純一 千楽 義雄

6 躓いて本気になった十八歳 健一

純一 えいじ 義雄 ミチ○ ひよこ

年収の壁に拍車かスキヤンダル 郁子

乃り子 広子 千楽 きよな 健一 アキラ

拉致の解決誰が本気で取り組んだ 千楽

ミチ ひよこ アキラ 哲子 郁子○

7 本気だと口説く呂律が回らない 広子

乃り子○ 純一 英二○ 千楽 ミチ

孫相手本気になっていやがられ 純一

基弘 義雄○ ミチ ひよこ○ 郁子

9 本気の嘘真実よりも重み持つ 英二

乃り子 広子○ 千楽○ きよな○

ミチ 哲子

秀11.本気度がこぼれるような厚化粧 広子

乃り子 基弘○ 純一○ 英二

きよな 健一○ 哲子 郁子

お題「薬」(連記) 伊藤基弘選

百薬の長保険効かぬが玉に瑕 健一

降圧剤腹立て飲んで効き目なし 乃り子

金庫から出るわ出るわの処方薬 正清

血圧を下げる薬が要る羽目に 郁子

薬より食が大事と医者言う 千楽

貴方には付ける薬がない言われ 純一

増えていく整形内科眼科まで ミチ

朝三錠飲んだら今日も始動する 哲子

点滴で生きる長寿の幸不幸 アキラ

佳 副作用気にしながらも飲んでいる きよな

佳 甘えん坊薬効きすぎ逆効果 えいじ

佳 毒を飲む覚悟で薬飲んでます 英二

佳 試し飲み薬か毒か苦い酒 幸男

秀 叱られてこれも薬と前向きに ひよこ

軸 母親の言葉一つで痛みとれ 基弘

お題「当たる」前田幸男選

阪神が負けて上司に八つ当たり 健一

喧嘩して当たるとこ無く茶碗割る えいじ

三等が当たりびっくり宝くじ きよな

言ったのに免許返納遅かった 純一

十億を当てて火星に土地を買う 正清

あちこちと当たってみるが見つからず ひよこ

予報士は所によりを付けたがる アキラ

声上げて当たると嬉しくイブ好き ひよこ

ぎんなんが三万粒の当たり年 正清

初夢はまさかのジャンボ組み違い 哲子

スポットライトやつと当たったヒダンキョウ 郁子

家の中同じところで蹴つまずく えいじ

ジャンボくじ外れた金で家が建つ アキラ

日当りのいい場所猫が占領し 健一

秀 白い玉たいてい外れガラガラり 英二

軸 運氣下げ暦通りの大晦日 幸男

お題「満足」播本英二選

鐘ひとつ本人だけが不満足 健一

満足に出来もせぬのに口達者 基弘

嬉しいな匂い戻って味もする ミチ

翔平の辞書に満足などはない アキラ

足を知り五欲の谷に埋める骨 ちさと

満足の基準を下げて楽に生き 基弘

足を知り気持ち豊かに過ごす日日 きよな

身の丈を知れば笑顔の絶えぬ日々 ミチ

満ち足りて危機感なしで平和ボケ 純一

にんまりとひとりよがりの満足度 ちさと

目的を成し遂げて尚不満足 哲子

余韻まだ冷めやらなくて席立てず 乃り子

旨いもの満足できぬ腹八分 健一

満ち足りて少しためらい散る紅葉 アキラ

秀 主婦業も時給換算千五百 幸男

軸 足を知る大人になって喜寿の春 英二

お題「やれやれ」(共選) 近藤郁子選

最近はついやれやれと声が出る
 やっとこき用事済ませばもうお昼
 再選をしても新たなボロが出る
 散歩して昼寝が終わり日が暮れる
 事故渋滞ゆとりの時間使い切り
 年の瀬は財布の口が開きどうし
 おーいお茶いまだ呼んでるウチの夫
 旅行から帰って気付く家の良さ
 年賀状ポスト帰りにスタバ寄る
 脅されて少数と党やーれやれ
 いびつだがなんとか円でたぶらかす
 お面外し自分にもどる棺の中
 神語る人の続ける殺し合い
 再選の知事に職員身構える
 秀 やれやれと思つたとたん次の山
 軸 普通の風邪五類になれば要る検査
 郁子

純一

きよな

基弘

えいじ

健一

きよな

哲子

健一

英二

純一

正清

アキラ

千楽

アキラ

ひよこ

幸男

健一

純一

ひよこ

英二

乃り子

仕事をし苦しむことも生きること
 個性的うちの家庭はシェアハウス
 動きスロー衰えを知る年となり
 人の句を一字変えれば新作に

基弘

騒ぐまい暦の通り来た師走
 とことこと師走の犬に追い抜かれ
 あくびして昼寝の続き老いの暮
 人並みに師走の顔をして見せる

義雄

仮の世から次の世へ行く準備中
 紅い秋一夜明けたら白い冬
 肯定も否定もしない愛燦々
 座右の銘なくとも生きた父と母

乃り子

無職でも気分重たい月曜日
 染めたはずが染められていた五十年
 やり放題就任前の大統領
 加湿しても手が荒れるのは歳のせい

健一

星降る夜賢治の名前持つ星も
 トリプルデミック区別がつかぬ諸症状
 打撲痕消えぬ顔見てもう師走
 お互いに気遣うようになり余生

郁子

越年の蕎麦は今年もカップ麺
 おはようと白いノートと白い息
 干し柿が好きなおとんの顔のしわ
 死んだふりしてもだくれも知らんぷり

ちさと

百八を二百に変えて除夜の鐘
 早弁の思い出ばかり廃校舎
 一億をリュックにつめて黄泉の旅
 夕焼けにひびが入って海へジュウ

正清

武豊ドウデュース御し颯爽と
 師走来て今年の投句顧みる
 病室の窓から人の歩く見る
 病得て改めて知る妻の愛

純一

自由吟 野々村アキラ選
 被告になるとズルくなる検事さん
 東大出ずに悪いことせぬ息子
 バイデン人の子息子に大甘
 大統領だまたトラが習招く

千楽

忘年会ドキドキカラオケ楽しいな ひよこ

昭和歌見直す良さや面白さ

鹿さんよ贈ったドングリ食べてよね
みかん好き食べ過ぎ分かる黄色い手

押し入れの贈答品も匂がある ミチ

断捨離でバザーあればと箱の山

このドラマ家事もラインもせずつに見る
自分より若い訃報に言葉なく

煽てられ頼られてるうちが華 アキラ

秒針よ止まれ私のロスタイム

値が下がりサンマ連日膳に乗る
バイキング欲しいものだけ少しだけ

壁壊し後は野となれ山となれ 英二

減税は家計で言えば給与減

目指しても画餅に終わる世の習い

赤門のセンセイ胸をなでおろす

*赤門、東京大学です

パンパカパーン平成の人通じない えいじ

自分の歯減ってはいるがまだ噛める

またかいな間違い電話昨日から

愚痴も言いけんかもするが仲はいい

クリスマス街は染まるも未だ乗れぬ 哲子

年一度安否確認だす賀状

年の瀬は無事なる感謝納めます

交渉なし据え置きでいくお年玉

じいじ好きな子供とたまに墓参り きよな

ドングリを集めて鹿にプレゼント

童心に還りドングリ拾う朝

私にもまだ残ってた童心が

勉強会 お題「似合う」互選 数字は票数

3ファッションショー外出前の一時間 健一

えいじ 郁子 アキラ

店員はどれ着てみてもお似合いと 純一

ミチ 千楽 えいじ

4 似合わない服で出かけて肩がこる ひよこ

基弘 千楽 郁子 アキラ

高い方似合いますよと店の人 基弘

健一 アキラ 千楽 純一

秀6年重ね自分に似合う色できる 純一

ミチ 千楽 えいじ 郁子 基弘 ひよこ

お似合いと賛辞惜しまぬウエディング 郁子

えいじ 純一 アキラ ミチ ひよこ 基弘

似合ってるそのひと言の持つパワー 郁子

基弘 えいじ 純一 アキラ ひよこ 健一

勉強会「似合う」奥村義雄選

佳 高い方似合いますよと店の人 基弘

佳 ファッションショー外出前の一時間 健一

秀 似合うはず綾瀬はるかは似合ってた 健一

一月六日(月) 十三時〜 いきいきホール一階
「よもやま話の会」 *ご希望の方参加を。

一月九日(木) 十三時〜 いきいきホール一階
勉強会「時事吟」二句 前日までに事前投句
参加者の互選と奥村義雄選 投句のみも歓迎

一月十八日(土) 十五時投句〆切 誌上句会
「ニュース川柳(時事吟)」(連記) 千楽
「努力」純一 「笑う」(共選) ミチ 郁子
「なるほど」(共選) 健一 きよな 各二句
自由吟アキラ 四句 「推薦十句」英二

五七五で日々の想い・喜怒哀楽を
詠んで楽しんでいきます

新入会員歓迎 勉強会実施中

入会金無し 会費月百円

句会 毎月第3月曜日 十三時〜

会場 いきいきホール二階

*連合会ホームページに優秀句掲載中